学校番号	T1206

令和８年度　　工業科

教科	工業	科目	工芸実習	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書							
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業内容は、基本的な技術を使った工芸作品を作ります。
工芸は工業に関連した内容になります。
課題内容は、毎年初めに指定します。（固定した課題はありません。）
実習では、各工場にて危険作業もあり安全に十分注意が必要になるため、実習服・靴・帽子の着用し、先生の指示をよく聞くことと真摯な態度で取り組むことが大切です。
作業上、汚れることもありますが共に課題完成を目指しましょう。

２ 学習の到達目標

「ものづくり」から基本の知識技術を身に付け、工業の意義や役割を理解させて、環境やエネルギーに配慮の上で平和的な社会の発展に必要な工業技術の資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
［知識及び技術］実践的な作業と安全な機器の取扱いを学び、各種機器等について基礎基本の知識と技能を身につける。
［思考力・判断力・表現力等］課題製作に向けて、技術的問題の解決を目指し、基礎基本の知識と技能で適切に判断し、他者と協議する能力を総合的に活用できる。
［学びに向かう力・人間性等］目標を達成するために課題の完成を目指し、主体的な取り組む姿勢と能力および実践的な態度を身につける。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実践的な作業と安全な機器の取扱いを学び身につけようとしている。 各種機器等について基礎基本の知識と技能を身につける。	課題製作に向けて、技術的問題の解決を目指し、基礎基本の知識と技能で適切に判断し、他者と協議する能力を総合的に活用している。	目標を達成するために課題の完成を目指している。 主体的な取り組む姿勢と能力および実践的な態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	工芸1	安全確認 準備 作業 片付け清掃	a）課題の特徴を理解している。製作方法を理解している。安全な正しい機器使用と作業を行えている。 b）課題・製作方法の問題や改善点を考えている。作業や機器の使い方の応用ができる。機能や改善点などを話し合いながら進めることができる。 c）作業を前向きに取り組んでいる。仲間と協力した作業が出来ている。	課題 作業 プリント レポート	課題 作業 プリント レポート	作業 プリント レポート
後期	工芸2	安全確認 準備 作業 片付け清掃	a）課題の特徴を理解している。製作方法を理解している。安全な正しい機器使用と作業を行えている。 b）課題・製作方法の問題や改善点を考えている。作業や機器の使い方の応用ができる。機能や改善点などを話し合いながら進めることができる。 c）作業を前向きに取り組んでいる。仲間と協力した作業が出来ている。	課題 作業 プリント レポート	課題 作業 プリント レポート	作業 プリント レポート

※ 表中の観点について　a：知識・技術　　b：思考・判断・表現
c：主体的に学習に取り組む態度